



『一步一歩進もう』

~Let's Move Forward Step by Step~  
東京六本木ロータリークラブ会長

# TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

## WEEKLY REPORT

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーは分かちあいの心』

～Rotary Shares～  
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年1月28日

No. 22

平成19年12月10日

卓話 日加関係 相互の国益を尊重する発展

駐日カナダ大使

ジョゼフ・キャロン 様

皆さんこんにちわ。お話しする機会をいただいて光栄に存じます。今日は日本、カナダ関係についてお話ししたいと思います。

まずカナダの外交政策です。グローバル化された貿易、国際経済に頼るカナダは、日本と同様、安定的で経済の発展のある世界が要ります。端的に言えばカナダは人材を欲しいのです。国民と政府はカナダの将来に貢献してくださる移民を、大学や研究機関は留学生を、サービス産業、ホテル産業はたくさんの観光客を欲しいのです。またカナダはパートナーを増やしたいのです。ビジネスの国際競争力を高めるため海外からの知的所有権、効率のよいテクノロジーを、消費者はハイテク消費財、低コストの日用品やサービスを、政府と州政府は製造業や資源に対する海外投資の増大を望みます。カナダ企業は日本に毎月1,000億円の物やサービスを輸出し、日本から毎月1,500億円の物やサービスを購入しています。日本の食品の6%はカナダから輸入され、日本で使われるエネルギーの10%はカナダ産ウランから生産されています。皆さんに考えいただきたいことは、カナダと日本が経済通商関係を現代に即したものにすることにより、お互いの経済を一層伸ばすことです。両国間の貿易は、経済的な潜在能力をまだ十分に活用していないと考えます。このようなわけで自由貿易協定の可能性を考えいただきたい。最近、両政府が行った研究は、両国が2国間自由貿易により互いに大きな恩恵を受けることを明らかにしました。またそれによってもたらされる両国の関係強化が、食料やエネルギー確保などの分野で日本の将来の安定に役立つとの結論であります。競争リスクが高まる世界で、日本のエネルギー、天然資源の供給は常にチャレンジであることに間違はありません。

だからこそカナダからのエネルギー、鉱物、林産資源の安定供給の確保は重要だと思います。カナダはエネルギー総生産量が世界5位を占める国です。世界最大のウラン産出国であり世界第2位の石油埋蔵量を誇ります。

カナダと日本が共有するのは経済関係に留まりません。両国は国際平和と安全保障の維持と促進に真剣に取り組んでいます。しかしあとと平和維持に関して協力ができると思います。ここ3年、日本の自衛隊の給油によってカナダのO E C Fにおける活動が可能になり、日本は重要な役割を果たしました。私たちは日本政府と、カナダ、日本の協力的な活動についていろいろ相談していました、近いうちにいい結果が出ると思います。

財政改革は日本で重要なテーマですが、カナダには財政再建の実績と豊かな経験があります。カナダはG7先進工業国の中で財政基盤が最も安定し、財政黒字が続いている唯一の国です。累積債務の対GDP率は日本は180だと思いますが、カナダは29%。3年以内に25%まで下がると予想されています。また法人税、個人税、消費税はいずれも引き下げられています。私たちは90年代に構造改革を行い、四半世紀続けてきた財政赤字による政策運営という悪癖を改めました。これは痛みを伴うものでしたが改革の過程で多くの教訓を学びました。その多くは日本にも応用できると思います。

現在の日加状況はすばらしいのですが、一緒に努力したらもっと健全なカナダと日本が出来ると思います。ご静聴ありがとうございました。

